

活動名	ひとり親家庭の不登校児童・生徒を対象とした訪問学習指導	団体名称	特定非営利活動法人ウィーズ
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動の目的	①不登校・ひきこもり・社会的自立支援活動

■申請書の活動概要<150~200字>	■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
不登校となり、自宅に引きこもりがちとなっている児童・生徒の自宅に週1回半年間訪問し、児童生徒に対する学習指導・カウンセリング及び保護者に対する包括的サポートを実施する。子どもたちが社会や学校への復帰を自ら望むようになり、実際に外へ出て生き抜いていけるよう、学習面・生活面・精神面など様々な視点からトータル的に支援する。	2017.9月上旬 2017.9月中旬 2017.10月~ 2017.12月上旬 2018.2下旬 2018.3月下旬 2018.4月~ 2018.6月より以降継続	①事務局ミーティング ②広報媒体の整備 ③備品等必要物の準備 ④広報活動 ⑤訪問活動スタート ⑥事務局ミーティング ⑦ふれあいキャンプの実施 ⑧保護者向け情報誌の発行 ⑨訪問期間終了後のアフターフォロー

■活動目標	不登校となり、自宅に引きこもりがちとなっている、ひとり親家庭の児童生徒及び保護者に対する包括的サポートを実施する。子どもたちが社会や学校への復帰を自ら望むようになる。
-------	---

■長期成果	不登校となり、自宅に引きこもりがちとなっている児童・生徒10名の自宅に週1回半年間訪問し、ひとり親家庭の子どもたちが「学校」や「一般的な家庭のあり方」へ固執せず、自分自身の人生を自ら切り拓いていけるように既存の仕組みでサポートできない子どもたちを支援することができる。
-------	--

■活動風景

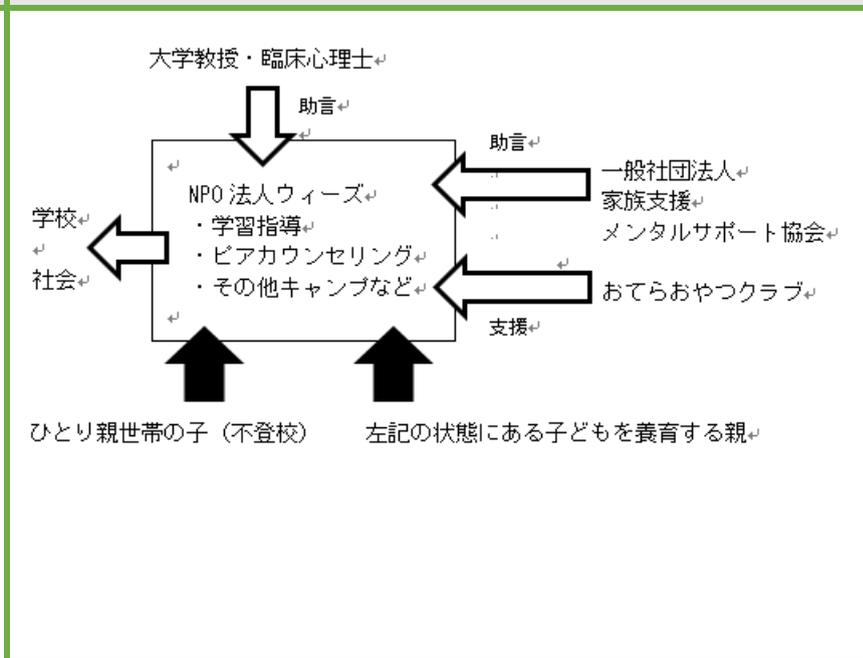
		
キャンプ	学習支援	保護者座談会

■上期の成果と下半期に向けた改善点 ■実施体制

中学3年生の生徒が高校入試に合格し、4月から高校生となった。中学2年生から不登校になっていたが、半年間の支援を通じて高校進学を強く望むようになり、高校選択から内申点対策、面接対策など包括的にサポートした。現在高校生活が始まって間もないが、新たな環境下で人間関係を構築し、良いスタートが切れている。

また、地域の子ども食堂との繋がりをもつことができ、支援が必要な親子の情報について共有をしている。学習面・生活面と支援分野を役割分担し、小さな地域の中で「社会で子どもを見守り、育てる社会」のロールモデルを作り出すことができたことは、今後市内・市外へとつなげていけるものと考えている。

子どもや保護者との信頼関係は構築段階なので、引き続き支援にあたっていきたい。



〒 274-0063 (住所)千葉県船橋市習志野台4-1-7 (団体名)特定非営利活動法人ウィーズ (ホームページ): http://we-ed-s.com/	助成金額 500,000円
	助成期間
	H29.9.1~H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。